

学校だより

くれつしえんど

« 10月号 »

令和2年10月1日

大阪市立川辺小学校

校長 隅戸 祥子

「やればできる！」自信を持って



秋といえば、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」…など、様々な形で「実りの秋」を楽しむ行事が行われます。今年は新型コロナの影響で自粛ムードが続きますが、感染対策をとった上で可能なことから始めていきたいものです。

さて、過日行われた川辺小学校運動会は、その「実りの秋」のトップを切って「スポーツの秋」にふさわしい行事になりました。多くの保護者の方々も応援にお越しいただき、本当にありがとうございました。子どもたちの大きな励みになりました。川辺っ子一人一人のキラキラと輝く心が一つになり、競技や演技を通してみんなで団結し、達成感が生まれました。このような感動体験を大切に、「やればできる！」という自信を持って、これからも夢や目標に向かってチャレンジしていきましょう！

*****「青りんごの精神」から学ぶもの*****



先日、7月に開館した「こども本の森 中の島」という図書館の前を通ったときに、ふと目に飛び込んできたものがありました。「青りんご」の大きなオブジェです。インスタ映えするこの作品は何だろう？と思って近づいてみると、オブジェの脇に次のようなメッセージが添えられていました。



サミュエル・ウルマンは「青春」の詩の中で、
青春とは人生のある期間ではない、心のありようなのだ、と謳いました。

失敗を恐れることなく、困難な現実に立ち向かう挑戦心。
どんな逆境にあろうとも、夢をあきらめない心の逞しさ。



身体・知性がいかに年を重ね、成熟しようとも、
この内なる若ささえ失わなければ、
人は老いることなく生きられるというのです。
いつまでも輝きを失なわない、永遠の青春へ—

目指すは甘く実った赤リンゴではない、
未熟で酸っぱくとも明日への希望に満ち溢れた青りんごの精神です。

建築家 安藤忠雄

これから「青春」を迎える子どもたちへ、そして「青春」は終わったと感じている大人たちへ向けての熱いメッセージです。心の持ち方しだいで輝きを失わず、永遠の青春時代を過ごせることの精神を学びました。「読書の秋」にちなんで、多くの本を読んでみましょう。